

令和元年度
詩吟朗詠錦城流 一般社団法人詩吟朗詠錦城会

全国大会



【開催日】 令和元年9月29日 (日)
【会場】 静岡市民文化会館中ホール



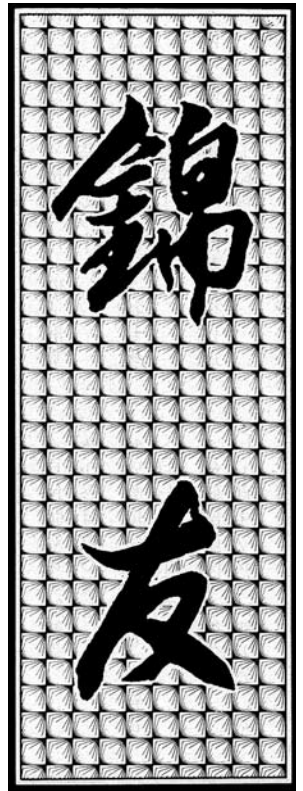
開会の辞 塩澤城佳

9月29日(日)、徳川家康公
終焉の城・駿府城の外堀に囲ま
れた静岡市民文化会館で、令和
最初となる錦城流・錦城会全国
大会が開催されました。
前静岡県本部長の渡邊城鉄大
師範の急逝により、一時開催が
危ぶまれましたが、急遽本部長
に就任した塩澤城佳総教師範の
下、本部役員が力強いバック
アップにより、県本部一同纏
まったのが、今年の5月でした。
不安を抱えながらも会員一同
協力の下、当日を迎えることが
出来ました。満足感と不安の中、
本部役員、近郊都県本部の皆様
方のご協力により、無事開催す
ることが出来ましたことに静岡
県本部会員一同、感謝しており
ます。



「富士山」を舞う詩舞道会員

北は北海道道南、南は鹿児島
より出吟者四五〇名、一般入場
者二九〇名の熱気あふれる中、
定刻1時に開会、塩澤静岡県本
部長の開会の辞、大合吟「富士
山」に続き、合吟(無伝)準師
範、少年吟詠の後、今大会のた
めに宗家・山元錦城先生が企画・
作曲された企画吟「富士山を詠
う」は、バックの富士山の絵の
素晴らしさに加え、流祖・山元
錦城先生のレコードによる詩舞



一吟徹心霊
一曲能興国

錦友…第299号

(令和元年11月15日)

・編集・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
・発行・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
東京都港区麻布十番2-4-14
電話:東京03-5484-3301(代)
〒106-0045

13時10分より、式典が取り行
われ、大会委員長・草薨城輝錦
城会専務理事、大会会長・城戸
城濤錦城会会長の挨拶、続いて、
ご来賓の静岡県知事(代理)、
静岡市長・田辺信宏さまのご祝
辞を頂戴しました。
特別番組「長詩中国編」、企画
吟「帰去来兮(かえりなんいぎ)」
は、尺八・箏の名演奏に導かれ
た力強く鍛錬された朗々たる吟
声が、満場の会場に響き渡りま



琵琶曲「東照公御遺訓」

2題が、舞台を一層華やかに盛
り上げました。
また、琵琶曲「東照公御遺訓」
は、初めて目にする機会を頂
き、本当に感動と感謝の気持ち
でいっぱいでした。観客を魅了
し、私達静岡会員に取り、心に
残る一幕でした。前半の合吟6
題をはさみ、詩吟物語「菅公篇」
の男性師範による魂を込めた力
強い吟は、感動に包まれました。



琵琶舞物語「義経の最期」

最後の琵琶舞物語「義経の最
期」は、全国大会ならではの豪
華なもので、一龍齋貞心先生の



宗家吟

した。
後半の吟詠は、大師範、総師
範、宗範の格調高い吟詠の素晴
らしさを満喫、宗家・山元錦城
先生の心の奥まで染み入る吟詠
に、場内は静まり聴き入りまし
た。

(次頁へ続く)

名解説、そうそうたる吟者、琵琶、尺八、笛、箏が織りなす壮大な舞台は、圧巻で、錦城流の心に染み入る芸術性の高さに、会場は感動に包まれました。

大会後、多くの方より「大変良かった」「感動した」との声を耳にし、大盛會に終わる事が出来たことに感謝しています。全国の錦友の皆様、ご協力ありがとうございました。

(静岡県本部 中尾城邦)

全国大会記念吟行会

全国大会の翌日、山元錦嶸先生を中心に東京都本部会員27名は、静岡市内の歴史・名所巡りへと出発しました。

静岡護国神社

献吟「故流祖先生留魂譜」

献吟「従軍看護婦戦没者の靈に捧ぐ」

感慨深きものが心にしみ入りました。

三保の松原

合吟「田子の浦夕景」

清見寺

五百羅漢等々歴史ある仏像を拜し、大変貴重な仏像を多く目にしました。

丁子屋

東海道五十三次元祖名物麦とろを頂きました。

田丸屋本店
わさび工場を見学しました。
浅間神社
自由散策



三保の松原にて

ほんの一部ではありませんでしたが、静岡の歴史・文化を知ること、触れることが出来たことと、会員相互の親交を深め合えた素晴らしい吟行会でした。

(世田谷支部・阿部城繁)

富士山周遊吟行会

全国大会翌日、総勢120名が3台のバスに分乗し、富士山周遊に出かけました。標高2305メートルの吉田口5合目にて、参加者全員で「富士山」等を吟じました。最初、曇っていた富士山を望むことが出来なかったのですが、吟じ終わると、スーッと雲が切れ、頂上まで見

渡すことができ、思い出に残る吟行会でした。



富士山で「富士山」を合吟

日本伝統文化吟友会 吟剣詩舞道コンクール

中国地区大会

詩舞コンクールは7月13日に、吟詠コンクールは、7月21日に開催され、広島県本部より18名が参加し、次の方々が入賞されました。

詩舞一般二部

優勝 藤井美由紀

二位 金光真由美

詩舞一般三部

二位 中村妙子

入賞 野島由子

入賞 神原光江

入賞 藤島由子

一般財団法人全日本吟剣詩舞道連合会 創設10周年記念祝賀会の開催

去る10月10日(木)、東京の浅草ビューホテルに於いて、全吟連「創設10周年記念祝賀会」が開催されました。

錦城会から、宗家・山元錦城先生、詩舞道錦城流宗家・本村緑崇先生、錦城会会長・城戸城濤先生他20名が参加しました。

式典では、笹川堯全吟連会長から宗家先生に感謝状が授与され、その後、祝舞として、広島県の詩舞道会員による「宝船」と、本村宗家・後藤緑允・西川緑恵各先生による「祝賀詞」が披露されました。

祝賀会の最後には、これをもって全吟連の活動は終わりにすることが発表され、閉会となりました。

漢詩一般一部

三位 大村 誠

入賞 新田洋子

漢詩一般四部

入賞 平川智久

入賞 吉井憲一

短歌一般の部

入賞 藤井美由紀

全国決勝大会へは、詩舞一般

二部の藤井美由紀さんと詩舞一般

三部二位の中村妙子さんが出場することになりました。

(広島県本部 西川錦洸)

◇組織体長の変更◇

国分道場(鹿児島) 山崎錦夏

福岡中央道場(福岡) 江口錦道

加世田道場(鹿児島) 市坪錦峰

準入道場(鹿児島) 泊 錦静

札幌北海道場(北海道道央) 本間城楓

筑城支部(福岡) 田中城龍



(S)

滋賀県本部湖南地区吟詠大会
 日野支部45周年・蒲生支部35周年・水口道場30周年
合同記念大会

令和元年6月30日(日)、合同記念大会を、日野町民会館「わたむきホール虹」大ホールで開催しました。当日は、平年よりずいぶん遅い梅雨入り早々大雨の降る中、大勢の一般来場者をお迎えすることが出来ました。初吟会からの合同練習の積み重ね、4月からの「記念大会開催のピラ」による来場のお誘いの強化などの結果が実を結び、各支部のご協力を得て、自信とともに嬉しい本番となりました。



「宝船」のオープニング



菅公篇

その後、企画吟「春夏秋冬」、素晴らしいナレーションでの日本ならではの四季のうつろいを吟の世界で楽しみ、また、湖南地区友情吟詠、青年部OB吟詠と続き、特別番組「菅公篇」(大西郷)では、優れた歌人の生涯を通じて、自分らしく生きるという事を考えさせられた一場面



大西郷

でもありません。

閉会時には、笑顔の来場者を見送ることができ、会員の表情も大変晴れやかでした。

また、8月20日(水)に、「記念大会反省会及び試写会」を開催しました。DVDを見ながら、当日を思い出し、話に花を咲かせました。コーヒー・ケーキタイムもあって、慰労会を兼ねた楽しいひとときを過ごしました。(記録係 中井城道)

催事のご案内
 (令和元年11月～2年3月)
 ◆本会主催 ◆本会後援

◆佐賀県本部大会
 ・12月15日(日)

伊達政宗正室「愛姫」生誕の地へ
 福島県平東支部

【日時】 令和元年7月13日
 【目的地】 福島県三春城下町
 【参加人数】 19名

降り続く梅雨も、その日は予報を覆し、絶好の吟行会日和となる。一〇八種の蓮の花が咲く名高い法蔵寺の日本庭園で美を採勝、次いで歴史民俗資料館を訪問。三春城を建立した田村家、伊達政宗の正室として夫を支え続けた愛姫、自由民権運動の河野広中、当時の町の様子、人々の暮らしぶり等を見学する。



バスを降り、天守閣に連なる林道といくつもの階段を、息を切らして登りきる。そこは、青葉に囲まれた広い空間、三春城跡二の丸の跡である。「夏草や兵どもが 夢の跡」の句が蘇る。眼下には三春城下、その向こうには郡山市、智恵子抄で名高い安達太良山と続く。降り注ぐ日の光、緑の絨毯、青い空、白い昼は、旅館の豪華ランチ、カラオケに興じ、名湯のラジウム温泉に浸り、今を生きている感覚が蘇った。何歳も若返った事は確実な吟行会の一日であった。(平東支部 佐藤錦亮)

30周年は道なかば

『吟詠・詩舞の集い』

道央本部30周年記念

令和元年7月13日(土)、遠

路、宗家先生・山元錦嶺先生を

お迎えし『吟詠・詩舞の集い』道央本部30周年記念を開催しました。本州は雨の日が続いていたようですが、当日の道央は暑くもなく、寒くもなく、過ごし易い日でした。

30周年と申ししましても、本部に昇格する前の20年があるわけで、合わせて50年、ひとつの山を越えました。継続する力、錦城会最北の拠点として、小なりといえども共に頑張ってきました。かつては北に稚内、旭川と拠点がありましたが、残念ながら火は消え、寂しい限りで我々の力不足を嘆くばかりです。

時代の流れには克てず、詩吟人口は減っています。逆流に竿をさす様な中で詩吟に価値を求め、友情に力づけられ新たな一歩を踏み出そうとしています。

「錦城流」という文化の火を消すな。宗家先生も錦嶺先生も、その為に北海道に来て激励してくれています。苦難は忍耐を生み、忍耐は練達を生み、練達は希望を生むと言われます。今は



6月23日、錦城会の総会が東京有明で行われました。午後からの宗家先生の講演で、新しい元号『令和』について語られました。その中で「日本は少々損をしても、戦争はしない方がいい」と申されました。先般、

テレビで仲代達也「ファミリーヒストリー」が放映され、宗家先生とも同年代、戦前・戦中・戦後と同じような体験をし、命がけで生き抜いた姿に感銘を受けました。8月、日本人はそう

いう事を考える月であると思います。

(道央本部長 本間城楓)



一般社団法人詩吟朗詠錦城会認可北海道道央本部 令和元年8月発行「ふれあい72号」より

新入会員の紹介

(6/15、10/11)

- 気仙沼支部 村上力男
- 仙台支部 大山 礼 永井理枝
- 子
- 長崎支部 近藤武彦
- 札幌支部 牛山好治
- 福岡南支部 笠原かつ子 糸山 恭輔
- 静岡支部 野田圭子
- 瀬谷道場 山田春雄
- 福江支部 吉野榮子
- 能登川支部 遠藤千登勢
- 八日市支部 今若堅志 寺村八重子
- わいわい吟詠部 井之川節子
- 福山松浜支部 万久里益男 林 スミ子

「暑氣払い」にて 公開發表会

7月30日、大野城市まどかぴあ多目的ホールにて、県会議員後援会主催の暑氣払い、アトラクションにお招き頂き、一二〇名の皆様に吟詠体験を。新元号「令和」を練習し・・・一節づつ続けてもらい親しんで頂きました。

総教師範の江口錦道・松山錦聖・田中錦嶺花の3人に「日本讚歌」を朗詠してもらい、七五調にも馴染んで頂く試みもして

- 大田支部 中野輝規 中野禎子
- 水戸支部 水野貴司 飯田保二
- 足立支部 設楽高司
- 広島南支部 宮城吉久 定野和広
- 薩摩川内支部 高橋裕恵 大庵 由紀子
- 野洲支部 佐々木信夫
- 都城支部 黒木涼哉 外勢礼央
- 夢 岩切道程 岡林英子
- 大口道場 面高道子 宇都監暢
- 串木野支部 福蘭豊二
- 太宰府道場 北川義子
- 鹿児島支部 諏訪園和子 前田 恭子
- こぶし吟詠部 石井富蔵
- 三日月道場 武富嘉津子
- 諫早支部 加藤多嘉子

みました。ご参集の方々はとも喜んで下さり、ホッと一息。自分たちが運営し、人を集めることは大変なことですが、こうした各地で取り行われる行事に積極的に参加し、体験、PR活動をしていくことにも大いにアンテナを張っていきたくと思っています。

(福岡県 東本錦恰)

まずは

あなたから 声かけを

(錦城会員向け)

日本伝統文化吟友会吟剣詩舞コンクール 関東決勝大会に入賞される

酷暑となりました8月3日、日本伝統文化吟友会吟剣詩舞コンクール関東地区決勝大会が、埼玉県草加市アコスホールで開催されました。4地区の予選大会を乗り越え、関東決勝大会の出場権を獲得されての出場となり、会場内の空気も、熱気に包まれた大会となりました。錦城会からは、左記の方々が出場しました。

短歌・一般の部

- 上宮田勝海(茨城)
- 佐藤法子(東京)
- 石原隆夫(神奈川県)
- 藤田文子(埼玉)
- 古賀 豊(神奈川県)
- 木屋吉弘(東京)
- 小宮喜八郎(神奈川県)
- 菊池慎一郎(茨城)

審査の結果は、漢詩一般一部の打越美和子様が優勝、有原裕絵様が第三位、水野智仁様が優秀賞に、一般二部の佐藤法子様が準優勝、水上理恵子様が優秀賞に、一般三部の石原隆夫様が第三位、上宮田勝海様が優秀賞、一般四部の梅村明彦様が優勝、金子筑波様が第三位、木屋吉弘様が、シード権で、短歌一般の部では、佐藤法子様が優秀賞、藤田文子様が優秀賞、上宮田勝海様が優秀賞、石原隆夫様が優秀賞、菊池慎一郎様が、シード権で入賞しました。おめでとうございました。惜しくも入賞を逃されました皆様方も来年を期待いたしております。

- 漢詩・一般一部
- 有原裕絵(埼玉)
 - 打越美和子(茨城)
 - 水野智仁(神奈川県)
- 漢詩・一般二部
- 水上理恵子(東京)
 - 佐藤法子(東京)
- 漢詩・一般三部
- 石原隆夫(神奈川県)
 - 上宮田勝海(茨城)
 - 小宮喜八郎(神奈川県)
 - 大内廣光(茨城)
- 漢詩・一般四部
- 丸山武夫(神奈川県)
 - 金子筑波(埼玉)
 - 梅村明彦(埼玉)
 - 木屋吉弘(東京)

錦城会東京都本部、茨城県本部、神奈川県本部、埼玉県本部の先生他委員にご協力頂きまし

た皆様に、厚く感謝申し上げます。

尚、日本伝統文化吟友会では、本年度から、全国大会出場者に文部科学大臣賞を授与する事になりましたので、目標を高くして挑戦下さいますようお願いいたします。10月20日の愛知県津島市文化会館での吟剣詩舞コンクール全国決勝大会でのご健闘をお祈りします。今後、全国各地予選会に参加し、技量の一助に出場を、お願いいたします。

(一社) 詩吟朗詠錦城会担当

日本伝統文化吟友会 金子城大

舞鶴カフェ公开发表会

昨年(一社)に続き、舞鶴カフェにお招きを頂き、地域の方々との交流をさせて頂きました。新元号「令和」の吟詠を皆さんに体験して頂き、万葉集より持統天皇、山上憶良他を。琵琶研究会の会員で、平家物語の一部を演奏し、公民館から用意されたコーヒール、お茶、お菓子等をいただきました。

から交流を... 昨年より参加者も増え、近隣の当仁公民館館長、社会福祉協

本部の動き
(元・6・16より 元・10・5まで)

6月22〜23日 令和元年度定時総会・指導者講習研修会

30日 日野支部45周年・蒲生支部35周年・水口道場30周年合同記念大会
7月6〜7日 山口県本部の講習会



議事会長、ボランティアセンタの方々の参加もあり、これからも「舞鶴カフェ」の意義ある行事として成長していきたいと、期待と、賛同していきたいと、会員一同地域活動の一助になったことを喜び合いました。(福岡中央舞鶴教場担当師範 東本錦伶)

13〜14日 北海道道央本部30周年記念「吟詠・詩舞の集い」と研修会

17〜18日 静岡県本部の講習研修会と昇格審査

26〜28日 鹿児島県本部の講習研修会と昇格審査

8月3日 日本伝統文化吟友会

9〜11日 滋賀県本部湖南地区の師範指導

24〜26日 北海道道南本部の講習研修会と昇格審査

30〜 滋賀県本部の講習研修会と昇格審査

9月1日 修会と昇格審査

14日 日本伝統文化吟友会「吟と舞の集い」

20〜22日 愛知県本部の講習研修会と昇格審査

29日 全国大会 静岡市市民文化会館

10月6日 宮城県本部の講習研修会



傘寿を迎え新たなチャレンジ

八月二十日桑港(サンフランシスコ)へ

鹿児島県薩摩川内支部長 吉本城川

米国カルフォルニア州のサンフランシスコ、サンマテオに文化交流のため渡米。日本舞踊の清乃本流USA支部のゆかた祭りの発表会に、錦城流の吉本城川を迎えたいと懇願され、宗家・山元錦城先生、本部長・本村錦香先生の許可を頂き、門下生・田代城眺師範を同行、清乃本流家元と弟子1名計4人での訪米でした。

米国、国峰流尚道会は、過去に錦城会とは深い絆で結ばれていたと聞いていたので楽しみにしました。

成田を夕方5時5分発が、かみなり雲の影響で、空港は、一時間半の閉鎖後、暗雲の中飛び立ち、目的地サンフランシスコに無事着陸。約10時間の空の旅でした。

日舞の関係者の出迎えに安堵して、目的地のサンマテオに向かいました。尚道会の話題になり、多数の会員は既に他界され、宗家の知り合いの杉田支部長、浜田天好様も他界されており、現在は、高齢者数名だけなので



活動はしていないとの事でした。詩吟国誠会は、サンマテオ日舞清乃本流支部長・大原みな子様、世話役として東京本部より招き指導を受けているとの事でした。

ゆかた祭りの会場は、サンマテオ仏教会館で、約二〇〇名の入場者でした。尚道会の方も数名来場。ほとんど鹿児島県出身者で、二世・三世の方が多かった。日舞も大西郷の曲で舞い、私達も西郷南洲翁の作品を出し物にとの要望があり、台本



「大西郷」の中から「偶感」を田代城眺、私は、西郷と共に海に投じた月照上人の辞世の句と17回忌に詠んだ「弔亡友月照」を吟じ、錦城流の真髓を披露し、客席の驚嘆の声に、改めて流儀の素晴らしさが誇らしかったです。

現状のサンフランシスコは、シリコンバレー(アップル、グーグル、フェイスブック社等が在る都市)でIT企業の進出で地価の高騰、不動産の高騰で一部屋借りるのも高額で困っているようです。でも、若者の高額者は多いそうです。反面、広大な土地、気候も良く、ブドウ畑が地平線の果てまで続き、我が鹿児島県民の誇りでもあるブドウ王「長澤鼎」氏の屋形にも行きましたが、昨年の火事で焼失、心痛めて後になりました。

6泊8日のチャレンジの旅も無事帰国出来、また、日々の生活に戻り、頑張っている今日この頃です。

国外に出て一番分かったことは、日本で生活出来る幸せ、安

◇新師範の紹介◇

雅号	県名	取得日
小田城虎	(福岡県)	1・7
荒木錦蕉	(長崎県)	1・7
河村錦節	(山口県)	1・8
渡辺錦栄	(山口県)	1・8
相川錦鈴	(静岡県)	1・8
正岡城晃	(山梨県)	1・8
恒吉錦賜	(鹿児島県)	1・8
末仙錦世	(鹿児島県)	1・8
今吉城盛	(鹿児島県)	1・8
國生城斎	(鹿児島県)	1・8
角田錦咲	(鹿児島県)	1・8
今村城恒	(鹿児島県)	1・8
田中錦生	(鹿児島県)	1・8
西城関	(鹿児島県)	1・8
福島錦鶯	(鹿児島県)	1・8
東福城聖	(鹿児島県)	1・8
前村城松	(鹿児島県)	1・8
西城栄	(鹿児島県)	1・8
岩本城豊	(鹿児島県)	1・8
久留錦恙	(鹿児島県)	1・8
本川錦龍	(鹿児島県)	1・8
久木迫錦峰	(鹿児島県)	1・8
高橋城辰	(鹿児島県)	1・8
瀬占錦周	(鹿児島県)	1・8
小鷹錦要	(鹿児島県)	1・8
平川錦京	(鹿児島県)	1・8
岡 錦政	(北海道)	1・9
小川錦華	(北海道)	1・9
村上錦佑	(滋賀県)	1・9
図師錦彩	(滋賀県)	1・9
西田錦漣	(滋賀県)	1・9
山田錦孝	(岐阜県)	1・9
吉川城健	(滋賀県)	1・9
横山城久	(滋賀県)	1・9
中村錦明	(滋賀県)	1・9
田中錦紬	(滋賀県)	1・9
山口城雪	(滋賀県)	1・9
北川城陽	(滋賀県)	1・9
小西錦美	(滋賀県)	1・9

編集後記

初めての開催となった静岡県での全国大会が終わってホッとされたのもつかの間、台風15号の被害が大きかった千葉県は、まだまだ復旧が出来ていないところに、さらに大型の19号が関東・東北地方に甚大な被害を及ぼしました。会員の皆様の中には、被害を受けた方もいらっしゃるかと聞いています。

何故この時期に大型の台風がやってくるかと言う問いに、気象関係者は、温暖化の影響で海水温が下がらないことを挙げています。という事は、人災?改めて日頃の生活を見直すことも必要かと思うこの頃です。(S)